

## 会 議 要 旨 録

会 議 名	令和2年度第1回三郷市子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和2年7月14日（火） 13時30分開会
開 催 場 所	三郷市 健康福祉会館5階 501・502会議室
出席者氏名	岡田会長、高橋委員、塚本委員、瀬上委員、中川委員、杉浦委員、 和井田委員、荒井委員、佐々木委員、小林委員、美田委員、神谷委員、 横内委員、 (欠席：篠宮副会長、大森委員)
傍 聴 者	0名
事務局職員	大石子ども未来部長、田口子ども未来部副部長、関根子ども政策室長、 新井主幹 新型コロナウイルス感染防止のため、児童育成行動計画関係課職員は自 席待機として対応。
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. 挨 拶</li> <li>3. 議 事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)「第2次みさとこどもにこにこプラン」について</li> <li>(2)「第2次三郷市児童育成行動計画（前期）」の年間報告について</li> </ol> </li> <li>4. 報告事項             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模保育事業所の整備・運営に関する提案募集について</li> </ul> </li> <li>5. その他</li> <li>6. 閉 会</li> </ol>
会議資料	<p>資料1 「第2次みさとこどもにこにこプラン」 「同概要版」</p> <p>資料2 「第2次三郷市児童育成行動計画（前期）実施一覧表」</p> <p>資料3 小規模保育事業所の整備・運営に関する提案募集の選定結果について</p>

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
事務局	<p>1. 開 会</p> <p>2. 挨 拶 （会長、部長挨拶）</p> <p>3. 議 事  (1) 「第2次みさとこどもにこにこプラン」について  【策定までの経緯】  平成30年  第1回会議…プラン策定計画を報告  第2回会議…市民アンケート（ニーズ調査・実態調査）  アンケート手法の検討事項の指摘  第3回会議…検討結果の報告  第4回会議…プランの方向性を議題として審議  「支援計画」と「児童育成行動計画」の一元管理  令和元年度  第1回会議…プラン骨子、基本理念、重点的取組  調査結果概要の報告  第2回会議…素案提示と意見聴取  第3回会議…本編、概要版を提示 パブリック・コメント実施結果  第4回会議…プラン策定、答申協議</p>
議長(会長)	<p>ただ今、事務局から説明がありましたが何かご質問はありますか。</p>
委員	<p>今の状況で、長期的なスパンで不安定な状況が長引くと思われるが、策定段階ではコロナの影響が大きくなかった時期と思うが、今後、事業の在り方、新たな課題・取り組み方・需要が出てくると思われるが、現段階で見直していかなければいけないポイント等、具体的な検討がなされるのですか。</p>
事務局	<p>新型コロナウイルスの影響は、3・4月から厳しい状況にあると思います。プランの中ですぐに見直しをすることがあるかとお尋ねかと思いますが、プランは数値目標を掲げ、基本的な考え方をお示しさせていただいたもので、今時点でのプランの見直しはございません。ただ、この状況ですので、新型コロナウイルスで直接影響を受ける保育所・幼稚園、子どもの居場所等に関しては、国も補助金等を出しているのです。その都度必要とされている補助、事業への支援策を行っているところです。プランそのものについては、もう少し長期的に見ております。</p>

委員	<p>基本目標 2 ・ 重点的取組「子どもの居場所」づくりの整備・推進については、以前の会議で「子ども食堂」が市内で立ち上がってきたとの報告を受け、安心した覚えがあるが、「子ども食堂」の運営が厳しいとか、開催できない状況がある中で、新たな課題・外出規制の中での需要等出てくると予測されるが、これから具体的に検討するということがよろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p>「子どもの居場所」づくりについては、計画策定の段階から、様々なご意見をいただき、各団体にヒアリングを実施するなどして反映をさせていただいたという経緯があります。今、民間団体の、特に「子ども食堂」については、食事をとる場所で感染が心配され、全て休止中です。お弁当の配布に切り替えたり、フードパントリーに振り替えて活動を続けているところもあります。そういった団体さんの所へ状況を見に行かせていただいております、そこで必要とされているものを伺いながら検討を進めています。</p>
委員	<p>これまでの取り組みをさらに発展させるために、新しく立て直したプランが形になりうれしく思います。計画を立てる時点では、新型コロナの影響を全く考えていなくて、この計画を元にして各部署が具体的な計画を練っていくときに、今までのものを見直した上で、よりよくしていくとか、いままでの数字をもとにして数値や評価をたてることのできたと思うが、ほぼすべてのものが人と人の繋がりの中で実施をしていかないと効果が上がってこないものなので、ここで新型コロナウイルスの影響で、中身・形の大幅な見直しをしていかなければならないのならば、初年度・2年度くらいの目標数値の設定は大変厳しいのではないかと考えています。ただ、この厳しいところで良い形を市で考えていただき、新型コロナウイルスのある世の中で、人と人との繋がりをより深めていくための具体的な方策を今後立てていただき、良い三郷の子育てが進んでいくことを期待しています。計画立案は大変かと思いますが、このプランを元にして頑張ってくださいと思います。また、その姿を報告していただきながら、協力していきたいと思っています。</p>
委員	<p>願いと感想を伝えます。ここで集大成とされた「子どもにこにこプラン」は、いろいろな経緯を経て立派なものが出来上がった感じがします。道筋がしっかりしていて、明確で、今後行政として取り組む内容がわかりやすく進んでいる。基本理念は前回のプランを継承して 6 年目です。行政の事業内容や働きかけによって功を奏していると思う。</p> <p>直近の新聞記事によると、三郷市の待機児童は県内で一番減ったということで取り上げられている。課題もあるけれど、取組がナンバーワンだということは一市民として嬉しいことです。色々な課題に対処</p>

	<p>する努力をいただければと思います。</p> <p>「子ども食堂」についての新聞記事がありました。「親の心にも寄り添い、親子が心安らかになるケア型の子ども食堂を作ります」というもの。先ほどのコロナに関することは、柔軟な対応をしていくのだろうと思いますが、こういう考え方はすごく嬉しくなる。(プランの)基本理念の「地域で支える」が動いている感じがする。また、保育園の開設は事業者の理解と行政との連携が大変素晴らしいことと思う。地域で支えていただけるような取り組みを「第2次こどもにこにこプラン」で一層の成果を上げていただきたい。良くできているこのプランで「消化不良」を起こさないよう地道な取り組み、みんながほほ笑むまちづくりとなれるようエールを送ります。</p>
議長	<p>ありがとうございます。委員お願いします。</p>
委員	<p>三郷市で、子育てが重視されているということはとても良いことです。三郷市は急激に発展してきた経緯があり、事業の提供区域(例P128)は、いろいろな理由で小学校区等の区域分けが一致していないので、地域の力の結集が分散してしまうのではないかと懸念している。市での区画割りで問題が生じていないのか、それに対して変えていくべき方向があるのか。地域を統一することが子育てにとって良いことであるなら、将来的にこの会議から提案をすることを考えていただければと思う。実際に市で困るようなことがあるでしょうか。</p>
事務局	<p>提供区域については、「子ども・子育て支援事業計画」でいえば、保育の提供区域は、地理的な条件や待機児童数の状況を考慮して設定するようになっていきます。児童クラブであれば、小学校区ごととなります。このことで、今のところ齟齬が生じているとは感じていません。ただ、例えば保育所に通う子どもたちは成長すれば、児童クラブを利用するようになるなど、連続性があり、連携を持って進めるべきものとの認識はあります。子ども未来部、教育委員会などを含め、庁内での「児童育成行動計画行政推進協議会」などの問題共有の場を設け連携を図っておりますので、今は表面化している問題はないと認識しています。</p>
委員	<p>民間の力の活用、力を生かしていくためには、なるべく統一していく方がよいと思っています。</p>
委員	<p>幼稚園・小学・中学・高校等に通う子どもたちがいるが、コロナ禍における対応がそれぞれ異なっている。小学校では、発せられる情報が日々変わっているなど、色々な所で気を配りながら対応していただいて感謝しています。また、小さな子どもたちへの対応が大変な幼稚</p>

議長	<p>園の先生方の苦勞、開園するための努力・工夫に頭がさがる思いです。保護者は、子どもたちの心の心配、コロナ禍での学校の再開、爆発的にコロナが増えるかもしれないという心配をしています。ぜひ、市役所職員・学校・幼稚園・保護者・地域が連携をとって、この先子どもたちが笑顔で学校に通えるようお願いしたいとの思いです。幼稚園や学校に行けるということは、子どもたちの精神の安定が図れる環境であると思っています。</p> <p>各委員からご意見を頂きました。これら意見はプラン・理念として大切にしていきたい。色々な具体的な要望・問題点の指摘をして頂きました。これらに対応しながら、子どもの安全を第一に考えて、ご対応頂きたいと思います。</p> <p>先ほど、委員からの「地域が分散化してしまう」という指摘がありました。分散化する中で、対応することも大切と思いますが、統合するという視点からの対応も同時に考える必要もあると思います。</p> <p>次の議題です。「第2次三郷市児童育成行動計画前期」の年間計画について、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>(2)「第2次三郷市児童育成行動計画(前期)」の進捗状況及び年間報告について</p>
委員	<p>プランNo.89「つどいの広場」事業については、なぜ、評価がBなのか。評価基準はどのような設定なのか。一昨年にもB評価で、その理由を伺ったら「もっと多い数値を求めている」との回答であったが、絶対数が限られていれば増えることはない。PDCAサイクルで不足した点とその改善点、戦略を作りアクションを起こすと思う。その結果でもB評価なのか。「つどいの広場」は魔法の講座であると感心している。若い親は育児に苦勞をしている人が多い。その中で、行政として良い企画をしていると思っている。「つどいの広場」で子育てについて友人ができた・仲間ができた。これも大きな成果であると思う。数を追う必要はないと思っている。A評価とするには、何組を求めるのか。評価の方法はどうしているのか。皆さんが一生懸命やっている事業で、大きな成果が出ていると思う。なぜB評価なのかを聞きたい。</p> <p>表示されている組数は「延べの数」ということで良いか。</p> <p>プランNo.89、プランNo.98双方に「つどいの広場」の事業名が記載されているなど、重複している理由を伺いたい。</p>
事務局	<p>一つ目のご質問の「つどいの広場」の評価について、にこにこプランの進捗状況を客観的に確認する必要があるので指標を掲げさせていただいています。「設置を10カ所に増やすこと、利用者36,000組」</p>

	<p>を掲げているため、「B（の上）」にあたります。委員からは、「中身によって指標をその都度見直してもよいのではないか」といったご意見かと思いますが、ソフト面（心の落ち着きなど）はなかなか客観視しにくいものであることから、利用者数を設定しています。指標を毎年度のように見直してしまうと、都合の良いように下げってしまうということになりかねず、5年間については、この目標を掲げさせていただいています。</p>
委員	<p>36,000組は参加できる見込みの数値なのか。</p>
事務局	<p>当時設定した数値指標です。</p>
委員	<p>数値を求めるのであれば、絶対数の持ち方を検討する必要があるのではないかと思う。</p>
議長	<p>「質」の評価ができるようになると良いと思います。「量」だけの評価では、新型コロナの影響で当然減少してしまう。これをどう評価するかを是非担当者で検討をしてください。</p>
委員	<p>「何回も来ていただいた」ということは、事業に満足しているということだから、それを評価することはできないでしょうか。</p>
事務局	<p>リピーター率や満足度調査などを組み合わせて、その事業を多角的に見ることも必要かと思いますので、担当課へ伝えさせていただきます。</p> <p>二つ目のご質問の、再掲があることについてですが、「つどいの広場」を例とすると、「相談体制の充実」を事業として掲げ、一方「保護者支援の機会の提供」に対する事業として複数回掲載されています。</p>
委員	<p>「新型コロナウイルスの感染がどの事業に大きく影響しているのか」を検討していただきたい。大きく影響しているものに「乳児検診の中止」がある。</p>
委員	<p>KPIの数値は計画策定と同時に策定されたもので、評価についても平時のことをベースしたものです。今は緊急時ですから、平時に設定したKPIの達成を目標として事務局・役所が動くのではなく、緊急時における対応を最優先にして、アクションを起こしていただきたい。来年の年間報告の評価数値が悪くなることは当然であろうが、今大切なのは、「緊急時にどうやって安全を保障するか」ということを優先に判断していただきたい。来年度の評価を気にしながら、無駄なことをするのではなく、優先順位を決めて実施していただきたい。この意見を議事録に是非とも残していただく。緊急時の対応をしていただきたい</p>

	い。
議長	そのほかに意見をお願いします。 本日の議事については以上です。進行を事務局にお返しします。
事務局	4. 報告事項 報告事項ではありますが、質問があればお願いします。
委員	中央駅付近の 2 園は同一事業者でありながら、点数に差がある理由は何ですか。2 階部分の園のほうが得点が高い理由は。
事務局	2 階部分の方が（1 階より）広く部屋がとれているという点で評価がされていました。点数評価だけで採択するのではなく、点数をつけたうえで選定委員が順位をつけ、その順位の合計により事業者を決定しました。
委員	公募の最低基準点は設定したか。
事務局	6 割を最低基準点としました。今回の提案中、これを下回るものはありませんでした。
事務局	5. その他 事務連絡
事務局	6. 閉会
意見調査票	三郷市子ども・子育て会議意見調査票による意見  意 見) 市内小中学校で児童生徒に、一人一台パソコンを配付する予定と聞いているが、いつ頃になる予定か。  回 答) 「10月頃を目途として、順次配付する予定である。ただし、全国的に進めている政策であるため、メーカーの在庫状況により前後することも考えられます。」とのこと。（教育委員会指導課からの回答）